

令和7年度 豊田市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和8年5月

豊田市（愛知県）

○計画期間：令和5年4月～令和10年3月（5年0月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点（令和8年3月31日時点）の中心市街地の概況

平成20年に策定した第1期中心市街地活性化基本計画（以下、計画という）では、計画推進中に発生したリーマンショックによる景気後退によって、大型店の売上や宿泊施設の利用者数が減少するなどの影響を受け、目標指標で掲げた歩行者通行量等は未達成となった。

それらを改善するべく平成25年に策定した第2期計画では、商業施設、高齢者福祉施設、住宅棟の3棟からなる「豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業」等を基幹事業に実施してきた。平成29年に再開発ビル「KITARA」が完成し、昭和60年からの豊田市駅周辺の再開発構想も完成を迎えた。また、計画で掲げた目標指標は、先述の住宅棟の入居が始まったことにより、全て達成することができた。

平成30年度からの第3期計画では、第2期計画までの課題であった昼間のにぎわいづくりと、再開発により整備された都市機能を最大限に活かした「公民連携によるまちづくり」を目指して、官民合計37事業に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に掲げたすべての指標は未達成となった。

それらの改善に向け、令和5年度からの第4期計画では、第3期計画までの課題であった居住、商業、エリアマネジメント、都市機能、産学官連携の分野の課題解決に向け、官民合計32事業に取り組んでいる。

計画1年目となる令和5年度は、令和8年の2026アジア競技大会を一つの目標に実施される都心環境計画に基づく都市施設整備が本格的に着工されたことで、公共的空間が減少し、利活用について課題が見えたが、目標指標は順調に推移した。

計画2年目となる令和6年度は、博物館がオープンしたことにより、地域の魅力が高まり、来訪者を呼び込むことで、まちなかの活気やにぎわいの創出に寄与したと考えられる。

計画3年目となる令和7年度は、大型店の出店により、中心市街地外からの来訪者が大幅に増加、それに伴い周辺の歩行者通行量も増加し、周辺の商業施設への流入に繋がったと考えられる。

今後についても、引き続きまちなかのにぎわいづくりに寄与する仕組みの検討を進めていくとともに、豊田市駅周辺の工事の状況や公共的空間の特性を考慮した環境整備、事業の実施をしていく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 中心市街地の居住人口

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地 区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
人口	13,394人	13,458人	13,473人	13,618人		
人口増減数	106人	64人	15人	145人		
自然増減数	▲42人	▲45人	▲58人	▲39人		
社会増減数	120人	71人	55人	232人		
転入者数	1,011人	995人	979人	1129人		

(2) 中心市街地の地価

(単位：円/㎡)

(中心市街地 区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
住宅地 (平均)	145,000	150,500	156,500	161,500		
商業地 (平均)	230,250	240,250	253,000	262,750		

2. 令和7年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第4期計画の3年度目となり目標指標として掲げている「居住人口」「歩行者通行量」「創業者数」それぞれ順調に推移していると評価できる。

「居住人口」は順調に推移しており、新たに供給された住宅への転入者が目立つ結果となっている。大型店舗の出店によるまちなかの利便性向上や、エリアマネジメント事業によるにまちのにぎわい創出もあり、4期計画期間である令和9年度までの間に継続した転入者増に期待したい。

「歩行者通行量」「創業者数」は豊田市駅近辺の工事の影響もうかがえるが、新規創業者支援事業や、(一社)TCGMが中心となり推進しているエリアマネジメントによる取り組みの効果が定着してきていると考えられる。

また、中心市街地の地価も上昇傾向が続いており一定の波及効果をもたらしている。

第3期計画中にはコロナ後を見据えた取組として、公共空間での椅子、人工芝の敷設等の設え整備(社会実験)や、屋外空間を活用したマーケット開催等による日常的な来街促進、回遊性、及び屋外空間の滞在性向上を狙った事業を行ってきた。昨年度に引き続き、日常的事業を補完するような休日集客イベントによるにぎわいづくり事業に加え、市街地全域を積極的に活用したイベント開催による来街者の誘因は、第3期計画の結果を踏まえたうえで、より効果を存分に発揮した取組だと評価できる。

一方で豊田市駅西ペデストリアンデッキ整備事業が一区切りつき、長く分断されていた東西通路の往来が可能になったことによる回遊性の向上は、経済的な活動にも寄与していると考えられる。豊田市駅東口側では、工事の影響により公共空間の活用に工夫がいる中でも、歩行者通行量は増加していることから、駅前広場整備が完了した後を見据えた空間の活用や、にぎわい創出について具体的に計画、検討する段階だと伺える。

第4期目という長きにわたる計画のなか、中心市街地活性化協議会として、過去の計画での成果を参考にし、活用できる要因は幅広く取り込み、第4期計画の事業推進に期待する。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値 (R3)	目標値 (R9)	最新値 (R7)	基準値からの改善 状況※1	目標達成に関する見 通し※2	
						前回の 見通し	今回の 見通し
まちなかの 定住者を増 やす	居住人口の 社会増減数	▲49 (人/年)	108 (人/年)	232 (人/年)	A	A	A
日常生活を 支える商業 の再生	歩行者通行 量(休日)	16,186 (人/日)	19,380 (人/年)	25,729 (人/日)	A	A	A
エリアマネ ジメント の推進							
プレイスメ イキング の推進							
まちなかで の起業	創業者数	3 (件/年)	12 (件/年)	7 (件/年)	B	B	B

＜基準値からの改善状況（※1）＞

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

＜目標達成に関する見通しの分類（※2）＞

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A：目標達成が見込まれる

B：目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C：目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「＜基準値からの改善状況（※1）＞」、＜目標達成に関する見通しの分類（※2）＞ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。（例：a、b、c）

2. 目標達成見通しの理由

計画推進により目標指標の「居住人口の社会増減数」については民間共同住宅の開発により基準値を上回る結果となった。

「歩行者通行量」については世界ラリー選手権、美術館、博物館の集客力がある展覧会により賑わい創出につながり目標達成に向けて順調に推移している。

「創業者数」は昨年度比、及び目標値ともに下回る結果となった。

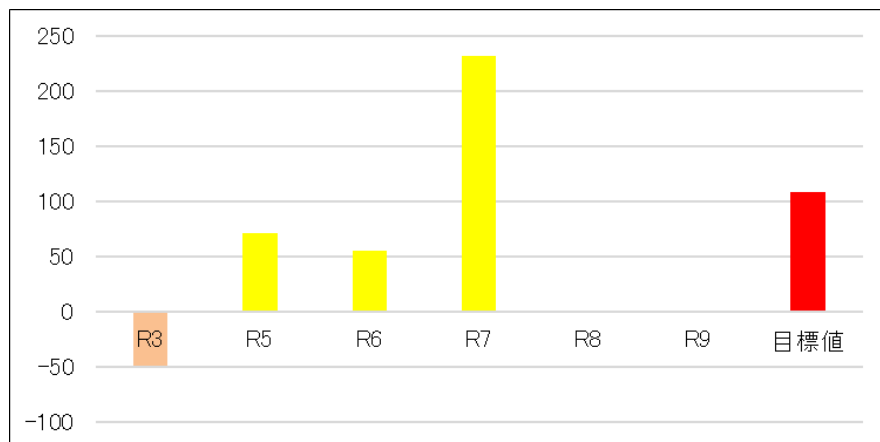
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回から変更はない

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「居住人口の社会増減数」※目標設定の考え方：認定基本計画P. 58～P. 59参照

●調査結果と分析



年	(単位：人)
R3	▲49 (基準年値)
R5	71
R6	55
R7	232
R8	
R9	108 (目標値)

※調査方法：豊田市住民基本台帳より中心市街地（16町）の居住人口の社会増減数を確認

※調査月：1年間を通じて

※調査主体：豊田市

※調査対象：中心市街地（16町）の居住者

	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
転入	1,011人	995人	979人	1,129人		
転出	891人	924人	924人	897人		
合計	120人	71人	55人	232人		

〈分析内容〉

・中心市街地内に民間による集合住宅が多く建設されたことから、昨年度と比較して転入は大幅に増加し、転出は減少した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 低未利用地を活用した共同住宅等の誘導事業

(事業実施主体名：都市計画課、都市整備課、財産管理課、資産経営課)

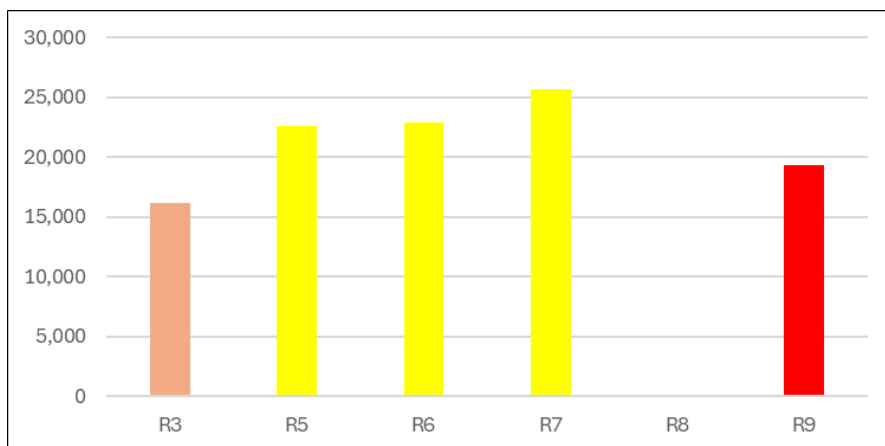
事業実施期間	令和５年度～令和９年度【実施中】
事業概要	駅前の共同住宅への住み替え需要を踏まえ、中心市街地の複合的な高度利用の整理と低未利用地等の敷地を確保し、共同住宅等を誘導
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	低未利用地の活用による共同住宅等の立地誘導に向け、補助制度等による事業者支援や私有地の利活用に向けた情報収集を実施
事業の今後について	早期住宅共有に向け、民間支援及び私有地の効果的活用に向けた調査等を実施

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗している。

今後も、共同住宅等の誘導事業を推進するため、市が保有する低未利用地の情報収集を実施するほか、活用方法について検討していくことが必要である。

(2)「歩行者通行量(休日)」※目標設定の考え方：認定基本計画P. 59～P. 63参照



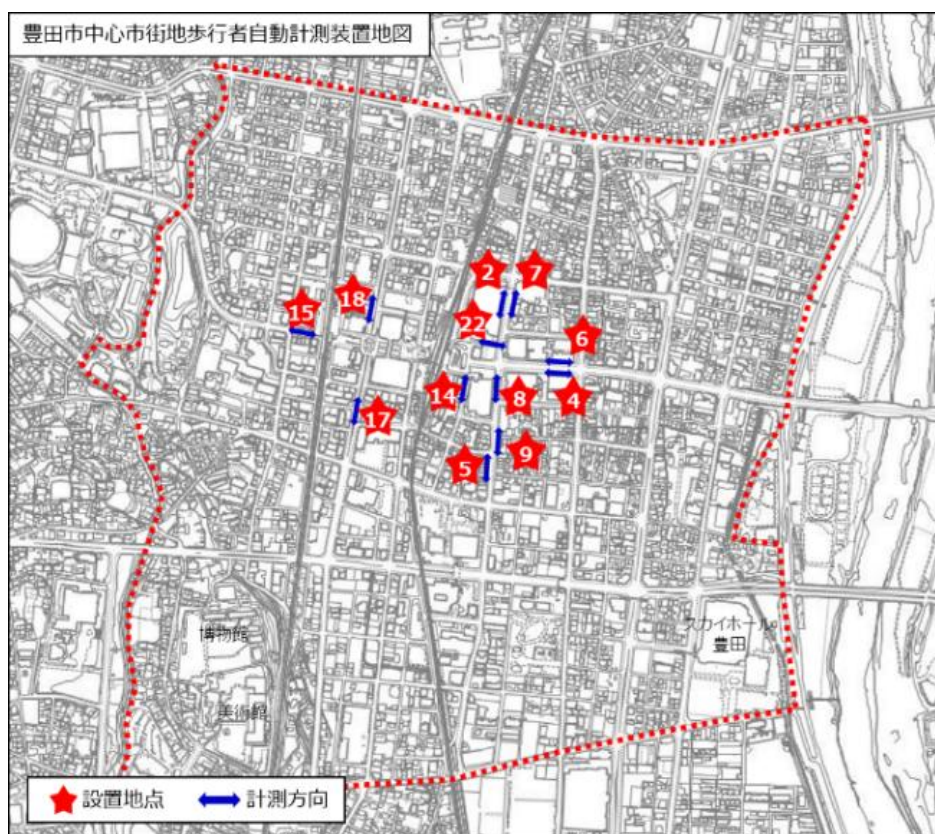
年	(単位：人/日)
R3	16,186 (基準年値)
R5	22,626
R6	22,887
R7	25,729
R8	
R9	19,380 (目標値)

※調査方法：豊田市中心市街地歩行者通行量自動計測装置による測定（12地点）

※調査月：1年を通して（休日5時から24時）

※調査主体：豊田市

※調査対象：歩行者



	令和 4 年度 (計画前年度)	令和 5 年度 (1 年目)	令和 6 年度 (2 年目)	令和 7 年度 (3 年目)	令和 8 年度 (4 年目)	令和 9 年度 (5 年目)
地点 2	2,231	1,899	1,816	2,520		
地点 4	2,475	2,451	2,618	3,022		
地点 5	960	978	950	1,014		
地点 6	2,030	2,395	2,411	2,600		
地点 7	1,660	1,921	1,884	2,198		
地点 8	1,134	1,009	791	930		
地点 9	993	1,082	1,089	1,146		
地点 14	1,142	1,228	1,343	1,422		
地点 15	982	1,027	1,004	1,084		
地点 17	2,418	2,681	3,155	3,241		
地点 18	1,524	1,866	2,005	2,078		
地点 22	3,684	4,104	3,827	4,473		
合計	21,226	22,626	22,887	25,729		

※数値はすべて小数点以下切り上げのため合計と誤差あり

〈分析内容〉

- ・大型店の出店により豊田市駅西側の通行量が増加した。
- ・基準年より回復傾向にあり、目標値の達成に向けて順調に進捗している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 豊田市駅東口駅前広場整備事業

(実施主体：都市整備課)

事業実施期間	平成 21 年度～令和 11 年度【実施中】
事業概要	豊田市駅東口における駅前広場の整備 $A = 7,400 \text{ m}^2$
国の支援措置名 及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区）） （国土交通省）、支援期間（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	東口交通広場整備工事
事業の今後につ いて	引き続き東口交通広場整備工事を継続実施予定

②. 豊田市駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業

(実施主体：都市整備課)

事業実施期間	平成29年度～令和8年度【実施中】
事業概要	ユニバーサルデザインのデッキに向けた再整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区））（国土交通省）、支援期間（令和5年度～8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	西口デッキ整備工事を実施
事業の今後について	引き続き西口デッキ整備工事を継続実施予定

③. 都心地区新設サイン整備事業

(実施主体：都市整備課)

事業実施期間	平成29年度～令和12年度【実施中】
事業概要	施設への回遊性を促すサイン施設設備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区））（国土交通省）、支援期間（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	西口サイン設置工事を実施
事業の今後について	サイン設置工事の実施

④. 市道西町若宮線歩車共存道路整備事業

(実施主体：都市整備課)

事業実施期間	平成30年度～令和7年度【済】
事業概要	歩行者が安全に通行できる歩道の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区））（国土交通省）令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	歩車共存道路整備工事の実施
事業の今後について	—

⑤. 緑と花につつまれた都心創出事業

(実施主体：公園緑地課、西山公園)

事業実施期間	平成30年度～令和8年度【実施中】
事業概要	緑の環境都市軸（スタジアムアベニュー）を中心とした、都心において緑化と花飾りを一体的に整備・管理
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	豊田市停車場線（豊田市駅～豊田スタジアム）沿いへの花飾りと緑化施設の維持管理を実施
事業の今後について	引き続き継続実施予定

⑥. 博物館整備事業

(実施主体：博物館)

事業実施期間	平成29年度～令和6年度【済】
事業概要	歴史・文化財や関連する自然についての展示、学習支援・交流調査・研究、収集を推進する施設の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（国土交通省） 令和2年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年4月26日豊田市博物館開館
事業の今後について	－

⑦. 広場等屋外空間を活用した賑わい・滞在・快適性向上事業

(実施主体：一般社団法人TCCM)

事業実施期間	平成25年度～令和9年度【実施中】
事業概要	公共的空間活用の社会実験から本格実施につなげていくことを目指す
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	利便増進協定による停車場線歩道を使用し、Toyota Street Marketを開催（6回／年） 停車場線を使って（ホコ天）まちなか賑わい創出イベントの開催（2回 マーケット&JAZZ／5月、ENJOY！ラリーモーターフェスタ／11月） 中心市街地都市公園利用のSTREET & PARK MARKETを毎月開催（12回／年） 美術館、博物館の庭園を使用したマルシェ2回／年開催
事業の今後について	利便増進協定による停車場線歩道使用を使用し、Toyota Street Marketを開催（6回／年） 停車場線を使って（ホコ天）まちなか賑わい創出イベントの開催（ENJOY！ラリーモーターフェスタ／5月） 中心市街地都市公園利用のSTREET & PARK MARKETを毎月開催（12回／年） 美術館、博物館の庭園を使用したマルシェ2回／年開催

⑧. 西口ペDESTリアンデッキ広場活用事業

(実施主体：産業振興課、一般社団法人TCCM)

事業実施期間	令和5年度～令和9年度【実施中】
事業概要	豊田市の西口ペDESTリアンデッキの耐震補強に合わせて、西口ペDESTリアンデッキ広場の備え、活用等を検討
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	西口ペDESTリアンデッキ広場のデザインの検討 西口ペDESTリアンデッキ広場の活用、管理運営等について検討
事業の今後について	西口ペDESTリアンデッキ広場の指定管理での運営開始

⑨. まちなか案内機能整備事業

(実施主体：産業振興課、一般社団法人ＴＣＣＭ)

事業実施期間	平成２２年度～令和４年度【済】
事業概要	来街者へのまちなか情報発信機能の整備・運営、豊田市駅東口駅前広場整備事業にあわせたまちなか案内機能の検討・整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	THE CONTAINER n6再整備、民設民営での事業計画案の作成（中小機構支援制度を活用しワークショップ形式での検討会の開催の継続）
事業の今後について	THE CONTAINER n6跡再整備に向け官民による検討会の実施（中小機構支援制度の継続採択を受け活用）民設民営によるn6跡再整備計画のブラッシュアップ

⑩. 都心公共施設活性化事業

(実施主体：産業振興課)

事業実施期間	平成２２年度～令和９年度【実施中】
事業概要	県公共施設で実施するイベント等に訪れる利用者をまちへ回遊させる事業を展開し、中心市街地及び周辺の公共施設とまちの連携強化並びに回遊性向上事業の展開
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	各施設にて実施
事業の今後について	各施設にて実施予定

⑪. 低炭素社会モデル地区整備事業

(実施主体：未来都推進課)

事業実施期間	平成23年度～令和5年度【済】
事業概要	パビリオン、スマートハウス、緑化・特殊舗装施設、地産地消ハウス、水素ステーション、マルチ・モビルステーション等の整備・運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和5年度にて事業が終了したため施設の解体を実施
事業の今後について	－

⑫. 参合館長寿命化改修

(実施主体：豊田参合館管理協議会)

事業実施期間	令和5年度～令和9年度【実施中】
事業概要	施設の老朽化対策と施策・社会ニーズへの対応を一体的に進め、施設利用環境の整備による施設の長寿命化を図る
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	豊田参合館長寿命化修繕工事の「管工事」と「受変電設備更新」を継続
事業の今後について	受変電設備更新の実施

⑬. まちなかインフォメーション事業

(実施主体：一般社団法人TCCM)

事業実施期間	平成29年度～令和8年度【実施中】
事業概要	来街者に対してまちなかの情報発信を実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地商業活性化診断・サポート事業 (経済産業省)、支援期間(令和5年度～令和9年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	まちなかインフォメーション、まちなか宣伝会議事業の情報発信、事業受付等を実施 行政サービス(おいでんバス高齢者定期販売、マンホールカード配布等) コーヒー、スイーツ&アルコール飲料販売を実施
事業の今後について	まちなかインフォメーション、コーヒー、スイーツ&アルコール等販売、マンホールカード配布の終了予定。(7月末)

⑭. 豊田市駅周辺地区のエリアマネジメント推進事業

(実施主体：一般社団法人ＴＣＣＭ)

事業実施期間	令和５年度～令和９年度【実施中】
事業概要	豊田市駅周辺地区のステークホルダー等が連携してエリアの魅力化、安全安心なまちづくり、快適性の向上等をめざし、屋外空間等を活用する事業の検討・実施
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	エリアの情報共有、課題等の対応を検討する豊田市エリアマネジメント協議会の開催 協議会内に公共空間WG、プロモーションWGを設置しエリアの課題等への対応 都心環境計画整備事業の情報共有、エリマネの関連、都市再生推進法人の役割等を協議する官民意見交換会の実施（５回／年） 豊田市駅東西の一斉清掃活動の実施（１２回／年）
事業の今後について	エリアの情報共有、課題等の対応を検討する豊田市エリアマネジメント協議会の開催予定 協議会内に公共空間WG、プロモーションWGを設置しエリアの課題等への対応予定 都心環境計画整備事業の情報共有、エリマネの関連、都市再生推進法人の役割等を協議する官民意見交換会の実施予定（５回／年） 豊田市駅東西の一斉清掃活動の実施予定（１２回／年）

⑮. 都市再生推進法人（一社）ＴＣＣＭ）によるまちづくり及びプロモーション事業

(実施主体：一般社団法人ＴＣＣＭ)

事業実施期間	平成３０年度～令和９年度【実施中】
事業概要	法人格を持ったまちづくり組織が事業収益を得て、新たなまちづくり事業に還元する
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	エリアマネジメントに関する取組みや協議会の運営、都市再生推進法人としての事業推進（まちづくり事業） まちなか宣伝会議、ＥＮＪＯＹ！ラリーモーターフェスタ２０２５を実施（プロモーション事業）
事業の今後について	エリアマネジメントに関する取組みや協議会の運営、都市再生推進法人としての事業推進（まちづくり事業） まちなか宣伝会議、ＥＮＪＯＹ！ラリーモーターフェスタ２０２６を実施予定（プロモーション事業）

⑩. 中心市街地テナントミックス推進事業

(実施主体：豊田まちづくり（株）ほか民間事業者)

事業実施期間	平成２５年度～令和９年度【実施中】
事業概要	豊田市中心市街地テナントミックスビジョンに基づき、中心市街地大型商業施設が一体となってひとつの商業モールとして機能するよう、テナントリーシングや施設整備、テナントミックス推進における課題を共有
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	新規出店数１２店舗 通行量増加（愛知環状鉄道、豊田参合館、K i T A R A 付近）
事業の今後について	まちと施設の繋がりを活かした賑わい、来街機会の創出、新たな人流分析ＡＩを活用したリーシングや回遊を促す施策の推進、効果検証、・継続したリーシング状況の情報共有、ショッピングガイドの刷新予定

⑪. 商業・サービス機能誘致奨励事業

(実施主体：産業振興課)

事業実施期間	平成１７年度～令和９年度【実施中】
事業概要	中心市街地に商業サービス機能の拠点となる大型施設（１，０００㎡以上）が新規に進出した場合等に、固定資産税・都市計画税・事業所税相当分を補助
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	交付件数：１件 交付先：豊田まちづくり株式会社
事業の今後について	１件交付予定 集客力のある大型商業施設等の誘致を推進し、中心市街地の商業・サービス機能を充実、強化するため実施予定

⑱. 公共空間等整備事業

(実施主体：産業振興課)

事業実施期間	平成２７年度～令和９年度【実施中】
事業概要	大型商業施設における広場、トイレ、休憩スペース等の公共的空間や施設の整備等に要する経費に対する補助
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	補助金交付実績なし 関係機関へ活用の可能性を確認
事業の今後について	必要に応じて、来訪者にとって快適な空間に向けた整備を実施し、また訪れたいくなるまちとなるよう、おもてなし環境の向上を目指す

⑲. 空き店舗等活用事業

(実施主体：産業振興課、商業・サービス事業者)

事業実施期間	昭和５３年度～令和９年度【実施中】
事業概要	空き店舗等の遊休資産活用や民間投資を先導する不足業種等の誘致のためのチャレンジショップ・コミュニティ施設等の整備に対し、店舗等の改装費や工事期間内の家賃を補助
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	補助金交付実績なし 空き店舗に対する支援策の検討
事業の今後について	空き店舗（退店予定含む）に対する支援策の検討を実施予定

⑳. まちなか賑わい・回遊性向上事業

(実施主体：一般社団法人ＴＣＣＭ)

事業実施期間	平成１５年度～令和９年度【実施中】
事業概要	地域商業者、公共施設、メディア関係者等で構成する「中心市街地まちなか宣伝会議」が情報発信、集客イベント等を合同で実施
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	まちなか宣伝会議の開催（月次定例１２回）、及び関連事業の実施 まちパワーＳＰＲＩＮＧ ３月 サポーター店（グランパス、ヴェルブリッツ、美術館、マラソン）
事業の今後について	まちなか宣伝会議の開催（月次定例１２回）、及び関連事業の実施予定 まちパワーＳＰＲＩＮＧ ３月予定 サポーター店（グランパス、ヴェルブリッツ、美術館、マラソン）実施予定

㉑. 豊田おいでんまつり事業

(実施主体：豊田おいでんまつり実行委員会)

事業実施期間	昭和４３年度～令和９年度【実施中】
事業概要	本市最大のまつり行事を中心市街地において開催
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和７年７月２６日（土）おいでん総踊り 参加者数：１０８連 ２，３７３人、リトル：１８連 ５０７人 令和７年７月２７日（日）花火大会 観客数：１２，９７０人（協賛席入場者数） 達成度：本市最大のまつり行事を中心市街地において開催する事業であり、中心市街地への来街促進、にぎわいの創出及び間接的な歩行者通行量の増加に寄与した
事業の今後について	おいでん総踊り：令和８年７月２５日（土）実施予定 花火大会：令和８年７月２６日（日）実施予定

②②. 中心市街地イルミネーション事業

(実施主体：イルミネーションストーリー実行委員会)

事業実施期間	平成１２年度～令和９年度【実施中】
事業概要	豊田市駅周辺で行うイルミネーション装飾及びサバイベントの実施
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	実施期間：令和７年１１月６日（木）～令和８年１月１２日（月・祝） 達成度：駅前工事に対応した装飾を実施したことや、世界ラリー選手権のオープニングセレモニーにて点灯カウントダウンを実施したことでラリーイベントとの一体感や盛り上がりを創出し、歩行者通行量の増加に寄与した
事業の今後について	実施予定

②③. 商店街にぎわい創出支援事業

(実施主体：産業振興課)

事業実施期間	昭和５３年度～令和９年度【実施中】
事業概要	商店街が実施する顧客の獲得、販売促進等の事業機会の拡大を目的として実施する事業及び防犯設備や街路灯の整備に対する補助
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	各商店街の活性化計画に基づく事業実施に対する支援の実施
事業の今後について	各商店街の活性化計画に基づく事業実施に対する支援を実施予定

②④. まちなかコミュニティ施設連携事業

(実施主体：豊田まちづくり(株))

事業実施期間	平成27年度～令和9年度【実施中】
事業概要	コミュニティ機能を併設した施設の活用を実施
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	MAMATOCO施設利用者の増加 豊田こまち 前年比 売上107%/客数103% 空飛ぶ羊 前年比売上 103%/客数119% レンタルスペース 前年比 108%
事業の今後について	テナントおよびレンタルスペース利用者増加のための広告宣伝、施設PR等の継続実施予定

②⑤. 豊田市駅バス停留所施設整備事業

(実施主体：都市整備課、交通政策課)

事業実施期間	平成29年度～令和7年度【済】
事業概要	豊田市駅バス停留所待機施設（公共交通情報提供、待合所等）の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区））（国土交通省）
事業目標値・最新値及び進捗状況	南側（T-FACE A館側）バス停留所整備工事を実施
事業の今後について	—

②⑥. 基幹バス路線運行事業

(実施主体：交通政策課)

事業実施期間	平成19年度～令和9年度【実施中】
事業概要	都心と各地域核を結ぶ基幹バスの運行
国の支援措置名及び支援期間	地域公共交通確保維持改善事業 令和5年度～令和9年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	都心や各拠点を結ぶ基幹バスの運行を実施
事業の今後について	都心や各拠点を結ぶ基幹バス路線の運行維持

②⑦. 先進移動技術等実証事業

(実施主体：未来都市推進課)

事業実施期間	平成25年度～【実施中】
事業概要	環境負荷の小さい次世代自動車（パーソナルモビリティ・電気自動車）のシェアリングシステムの活用実証
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	歩行領域BEV「C＋walk」のシェアリングサービス「まち＋モビ」を中心市街地で実施
事業の今後について	「まち＋モビ」の継続 「まち＋モビ」認知度向上のための企画を実施予定

②⑧. 豊田市駅駅舎改修事業

(実施主体：名古屋鉄道（株）、都市整備課)

事業実施期間	平成21年度～令和8年度【実施中】
事業概要	名鉄豊田市駅の耐震化、北改札の設置、景観整備（全体）
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	駅舎耐震補強工事及び駅舎改修工事の実施
事業の今後について	駅舎耐震補強工事及び駅舎改修工事の継続実施

②⑨. 駐車場利便性向上事業

(実施主体：豊田まちづくり（株）、産業振興課)

事業実施期間	平成25年度～令和9年度【実施中】
事業概要	駐車場再整備、フリーパーキング駐車場の誘導方法及びシステムの見直し
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	フリーパーキング利用状況から駐車場への誘導方法及びシステムの見直しの協議及び検討を実施
事業の今後について	フリーパーキング利用状況から駐車場への誘導方法及びシステムの見直しを検討し、駐車場利便性向上を図る 関係者へのヒアリング、利用者調査の実施

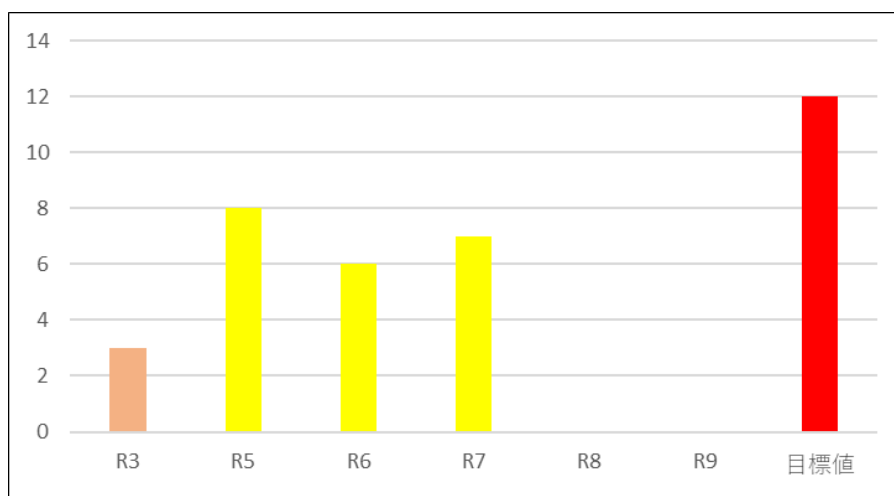
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗している。

今後も豊田市駅周辺を中心とした工事の影響で歩行者の利便性低下が懸念されるが、各種イベント及び事業による公共的空間の活用により、目標達成に向けて回遊性向上を目指す。

(3)「創業者数」※目標設定の考え方：認定基本計画P. 64～P. 65参照

●調査結果と分析



年	(単位: 件/年)
R3	3 (基準値)
R5	8
R6	6
R7	7
R8	
R9	
R9	12 (目標値)

※調査方法：特定創業支援事業証明書を交付した創業希望者の数を確認

※調査月：1年を通じて

※調査主体：豊田市

※調査対象：証明書を交付した創業希望者のうち中心市街地で創業を希望する者

〈分析内容〉

- ・昨年度の件数を上回れずトレンド推計値よりも下回っている状況である。
- ・基準年よりは回復傾向にあるが、前年度の値より悪化した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. ものづくり創造拠点運営事業

(実施主体：次世代産業課)

事業実施期間	平成29年度～令和9年度【実施中】
事業概要	ものづくり人材の育成支援、中小企業の新たな事業展開支援、スタートアップによるオープンイノベーション・新産業創出支援、中小企業のデジタル化・カーボンニュートラルの促進デジタル
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	ものづくり人材の育成支援、中小企業の新たな事業展開支援、スタートアップによるオープンイノベーション・新産業創出支援、中小企業のデジタル化・カーボンニュートラルの促進
事業の今後について	ものづくり人材の育成支援、中小企業の新たな事業展開支援、スタートアップによるオープンイノベーション・新産業創出支援、中小企業のデジタル化・カーボンニュートラルの促進を実施予定

②. まちなかエリア新規創業相談・支援事業

(実施主体：豊田商工会議所)

事業実施期間	平成28年度～令和9年度【実施中】
事業概要	創業相談・支援事業
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新 値及び進捗状況	7件の新規創業相談及び支援を実施
事業の今後につ いて	10件を目標とし新規創業相談及び支援を実施予定

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しているが、目標の達成は難しい状況である。

引き続き中小企業を中心とした支援を実施し、創業意欲が湧くための魅力づくりを検討することで、まちなかエリアでの創業を推進する。